会員各位

2012年6月
日本化粧品技術者会東京支部

第260回「学術講演会」のご案内

梅雨空に紫陽花の色が鮮やかな季節になってまいりました。会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。
さて今回は2題のテーマで「学術講演会」を開催致します。
1題目は、美術領域における女性の表現について、ポーラ美術館の学芸員であられる岩﨑先生にお伺いします。当会でも「技術見学会」で訪問したことがありますが、あらためてポーラ美術館所蔵の作品から女性像を紹介いただきます。
また第 2 題目は、『美人は得をするか「顔」学入門』(集英社新書)などで著名な山口先生を迎え、
“顔認識”や、赤ちゃんの生育過程における知覚の発達・脳のメカニズムについて、お話を伺います。
皆さまお誘い合わせの上、多数ご来聴いただきますようご案内申し上げます。　　(学術部会A)

記

1.　日 時 ： 2012年7月23日(月) 13:30～16:30　(13:00～ 受付開始)

2.　場 所 ： 学士会館(神田) 2F－202号室 (地下鉄神保町下車;参加申込書略図参照)
東京都千代田区神田錦町3-28 TEL;03－3292－5936

3.　講演

【講演-1】　13:30～14:45

『美術における女性の表現―ポーラ美術館コレクションを中心に―』

ポーラ美術館学芸課長　岩﨑 余帆子 氏

[要旨]

女性像は、美術の重要な主題であり、多くの芸術家が女性をテーマとした美術を残している。ポーラ美術館のコレクションには、おもに西洋近代絵画、日本の近代洋画、彫刻、陶磁などの分野に、女性像をテーマとした作品が数多く含まれており、当館のコレクションを特徴づけるものとなっている。
本講演会では、おもにポーラ美術館所蔵の女性をテーマとした美術作品を紹介しながら、美術において女性がどのように表現されているのか、その背景にある作家の意図や、女性を取り巻く社会的状況なども視野に入れて考察してみたい。

[講師略歴]

東京藝術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻(西洋美術史)修了。
専門は 19 世紀のフランス美術。女子美術短期大学専任助手、東武美術館学芸員を経て現職。
ポーラ美術館で担当したおもな展覧会に、「ポーラ美術館の印象派」(2005 年)、「ドガ、ダリ、シャガールのバレエ―美術の身体表現」(2006－2007 年)、「肖像の 100 年―ルノワール、モディリアーニ、ピカソ」(2009 年)、「コレクター鈴木常司―美へのまなざし」(2012 年)などがある。著書に『週刊西洋絵画の巨匠:ドガ』(小学館 2009 年)、『モネと画家たちの旅―フランス風景画紀行』(共著、西村書店、2010 年)がある。

【講演-2】 15:00～16:30

『赤ちゃんは世界をどう感じているのか』

中央大学文学部心理学研究室教授・博士（人間科学） 山口 真美 氏

［要旨］

その昔、生まれたばかりの新生児は目が見えず、耳も聞こえないと信じられていた。様々な心理学実験から、胎児の時から音を聞き、生まれた直後の新生児でも目が見えることがわかってきた。言葉を喋ることのできない乳児の認識能力を調べるための実験方法は60年代に Fantz によって開発され、乳児は特定の図形パタンを好む法則があり、顔も好んで見ることがわかったのである。
とはいえ乳児は大人と全く同じように世界を見ているわけではない。振動で伝わる聴覚は胎児の時期から機能するが、光で伝わる視覚は、真っ暗な胎内から出ないと受け取ることすら不可能である。視覚能力の完成はやや遅く、様々なメカニズムが交雑する中で知覚は発達する。視覚や嗅覚をまじえた知覚の発達と顔認知の発達、そしてその脳のメカニズムについて概観していく。

［講師略歴］

1994 ㈱ATR 人間情報通信研究所客員研究員
1995 お茶の水女子大学人間文化研究科人間発達科学専攻修了
1996 福島大学生涯学習教育研究センター助教授
1998 中央大学文学部心理学研究室・助教授
2006～2010 科学技術振興機構さきがけ研究員
2012 放送大学客員教授
現在 中央大学文学部心理学研究室教授・博士（人間科学）

学会等
日本学術会議連携会員
日本赤ちゃん学会事務局長
日本基礎心理学会理事/編集委員
日本心理学会評議委員/編集委員
日本顔学会理事

以上

日本化粧品技術者会東京支部　事務局　行
（FAX:03－6431－9126）

第260回　学術講演会（開催日:7月23日）参加申込書

参加者氏名	該当に○　：　正会員、準会員、シニア会員、相談役・顧問、代理参加
	代理参加の方は、正会員のお名前もお書きください
	正会員名
会社名	
連絡先	TEL:
	FAX:

◇　申込方法

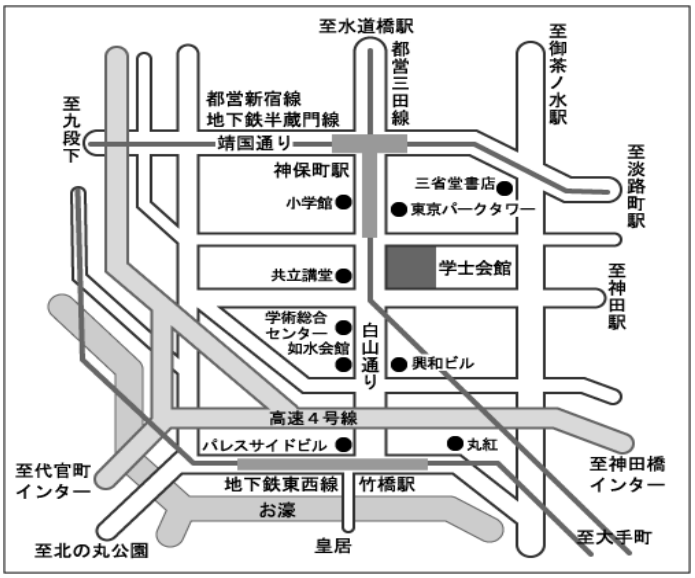
- ○　本申込書を事務局（03－6431－9126）にFAXして下さい。
- ○　参加費は無料です。
- ○　参加証は発行しませんので、特に事務局からご連絡（定員でお断りする場合）がない限り、参加可能です。
- ○　なお、正会員の代理者（1名）の参加は可能ですが、準会員、シニア会員の方はご本人のみ参加可能です。

申込締切日:7月17日（火）（厳守）

会場定員になり次第、締切らせていただきますので、お早めにお申込下さい。

◇　お問合わせ先　日本化粧品技術者会事務局（東京支部）（TEL:03－6431－9196）

◇　会場（学士会館）略図



◇地下鉄　都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線　神保町駅下車（A9出口）徒歩 30 秒
◇地下鉄　東京メトロ東西線竹橋駅下車徒歩5分